



直方市議会議員 やすなが浩之 議会報告



《令和元年12月定例会》

本会議
《議案第100号》
植木桜つつみ公園指定管理者の指定について **否決**

民間管理運営手法の導入による「経費節減」や専門事業者による芝生管理などの「施設維持管理力向上」を目的に、指定管理制度を活用した公園とパークゴルフ場の一体的な民間委託が提案されましたが、産業建設委員会にて慎重審査を行った結果、「財政効果が見込めない」ことから全会一致で「否決」となり、本会議場においても、反対多数で「否決」となりました。

同施設の指定管理につきましては、公園とパークゴルフ場の分離委託の必要性検討や地元協議会をはじめとした関係諸団体との意見調整等を十分に行った上で、まずは財政効果を図る上での債務負担行為の補正予算を改めて提案することを要望しています。



委員会
《議案第97号》
直方市廃棄物の減量及び適正処理に関する
条例の一部を改正する条例について **可決**

北九州市に処理委託している可燃ごみの処理費用が段階的な値上がり傾向にあることに伴い、直方市可燃物中継所への持ち込み料金を値上げする提案がなされました。「10kgごとに150円と地方消費税」であったものが、「10kgごとに200円と地方消費税」へ変更になるとの条例改正です。

北九州市への処理委託費用は、10kgごとにH15：150円、H17：170円、H19：200円と変遷しており、条例改正の内容は致し方ないものの、根本的なごみ減量に対する行政としての取り組みを可及的速やかに明示することを委員会として要望し、可決されました。



■一般質問①
【直方北九州自転車道について】

直方市溝掘を起点とし、北九州市若松区安屋を終点とする延長34.6キロメートルの自転車歩行者専用道である「一般県道直方北九州自転車道線」が11月17日に開通しました。

開通日に県主催で行われたイベントの成果について伺い、直方市観光物産振興協会が創設した「サイクリスト受入推進企業登録制度」の概況を尋ねました。

更に、昨年9月に国交省が調査事業を実施し、実現可能性を帯びてきた「九州一周サイクリングルート」への早期関与を意見提起し、本年9月に創設された「ナショナルサイクルルート」の制度基準を本自転車道と比較検討することで、将来における自転車道整備の方向性を探りました。



■一般質問②
【学力向上を目的とした
県配置の非常勤職員について】

平成30年4月に実施された全国学力学習状況調査の結果は、前年度より小学校において大きくポイントを下げていましたが、児童生徒が1時間の授業で習得しなければならない力を身につける取り組みを推進した結果、全国学力調査以外の調査等で学力の上昇が見られたとの報告がありました。

その取り組みの中に、「福岡県から配置していただいた19人の非常勤講師を活用した少人数学習の徹底」がありましたが、本年度までの2ヶ年で県費での配置は終了します。過去の状況調査結果を伺った後に、学力向上対策の内容を再度伺い、講師配置の経費を分析し、来年度の配置継続を要望しました。



発行人：直方市議会議員 **安永 浩之**

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所
住所：直方市知古1丁目6番1号
メール：info@h-yasunaga.jp
電話：0949-28-8087
↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください
ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之 検索

公式HP Facebook Instagram